

企画・執筆者紹介 (五十音順)

天羽健太郎 あまは・けんたろう

聖路加国際病院 整形外科 医幹

1975年横浜市生まれ。2002年昭和大学医学部卒。聖路加国際病院での初期研修を経て、同院整形外科レジデント。年整形外科専門医取得。2010年奈良県立医科大学整形外科国内留学。2010年アメリカ、キャンベルクリニック留学。2014年より現職。専門は整形外科、足の外科。

これまでの著書に『症状から一発診断! 整形外科専門医はこう見立てる』(総合医学社、2015年)など。

伊澤直樹 いざわ・なおき

聖マリアンナ医科大学 臨床腫瘍学講座

1981年神奈川県生まれ。2005年聖マリアンナ医科大学卒。

静岡がんセンターレジデントなどを経て、2014年4月より聖マリアンナ医科大学臨床腫瘍学講座助教。専門は腫瘍内科学、消化管・胆膵の腫瘍に対する化学療法。

これまでの著書に、『チャートでわかる! がん外来化学療法のリアル チームで解決する18の副作用』(南江堂、2014年)がある。

市川靖子 いちかわ・やすこ

帝京大学医学部 内科学講座腫瘍内科 講師

1973年大阪府生まれ。1998年熊本大学卒。熊本大学、済生会熊本病院での研修後、2000年熊本労災病院。2005年熊本大学大学院卒業し、熊本大学医学部呼吸器内科研究生。2006年同科勤務。2007年上天草市立上天草総合病院。2008年近畿大学医学部腫瘍内科。2010年京都桂病院呼吸器センター呼吸器内科。2012年より現職。

専門は腫瘍内科学、がん支持療法。

市原 真 いちはら・しん

札幌厚生病院 病理診断科

1978年北海道生まれ。2003年北海道大学医学部卒。2007年北海道大学大学院医学研究科分子細胞病理学博士課程修了。国立がん研究センター中央病院病理部にて半年間の任意研修後、2007年10月より札幌厚生病院病理診断科。病理専門医、臨床検査管理医、細胞診指導医。

Twitter: @Dr_yandel

上園保仁 うえどの・やすひと

国立研究開発法人 国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野 1959年宮崎県生まれ。1985年産業医科大学卒、1989年同大学院修了。医学博士取得。1991～93年まで米国カリフォルニア工科大学生物科学部門留学。2004年長崎大学大学院医歯薬学研究所内臓薬理学准教授。2009年より現職。2015年より国立がん研究センター先端医療開発センター支持療法開発分野分野長を兼任。専門は分子神経薬理学、緩和医療学。

著作物として、『Q&Aでわかるがん疼痛緩和ケア』(じほう、2014年)、『長生きするがん治療』(ワニブックス、2015年)、『今すぐ始めたい婦人科がん領域における緩和医療の実践』(金原出版、2017年)などがある。

大森崇史 おおもり・たかし

飯塚病院 総合診療科・緩和ケア科フェローシップ

1987年福岡県生まれ。2012年山口大学卒。社会保険徳山中央病院での初期研修後、飯塚病院総合診療科・循環器科、東京ベイ・浦安市川医療センター集中治療科で後期研修。松口循環器科・内科医院非常勤医として在宅医療に従事。2017年より飯塚病院総合診療科・緩和ケア科フェローシップとして勤務。九州心不全緩和ケア深層プロジェクトメンバー。専門は総合診療、循環器、がん・非がんを問わない緩和ケア。

柏木哲夫 かしわぎ・てつお

淀川キリスト教病院 理事長

1939年兵庫県生まれ。1965年阪大医学部卒。同大学精神神経科に3年間勤務し、その後3年間、ワシントン大学に留学。1972年帰国し、淀川キリスト教病院に精神神経科を開設。翌年日本で初めてのホスピスプログラムをスタート。1984年にホスピス開設。1993年大阪大学人間科学部教授就任。大阪大学定年退官後2004年4月より金城学院大学学長。2013年9月より淀川キリスト教病院理事長。

専門は精神医学、緩和医療。

著作として、『定本ホスピス・緩和ケア』(青海社、2006年)、『いのちに寄り添う。ホスピス・緩和ケアの実践』(KKベストセラーズ、2008年)、『死にざま』こそ人生 『ありがとう』と言って逝くための10のヒント』(朝日新聞出版、2011年)、『いのちへのまなざし 人間理解を深める55のメッセージ』(いのちのことば社、2013年)、など。

川上和宜 かわかみ・かずし

がん研有明病院薬剤部 主任

1974年岡山県生まれ。2000年昭和薬科大学大学院薬学研究科修了。2000年4月より癌研有明病院薬剤部勤務。2011年公益財団法人がん研有明病院薬剤部主任、2013年昭和薬科大学にて「Paclitaxelによる末梢神経障害重篤化のリスク因子解析及び基礎的研究」にて博士(薬学)取得(田口恭治教授)。2015年より現職。研究テーマは、抗がん剤による末梢神経障害、経口抗がん薬のadherence。これまでの著作に『今日の治療薬』(南江堂)、『がん化学療法レジメン管理マニュアル』(医学書院、2012年)、など。

川越正平 かわごえ・しょうへい

あおぞら診療所 所長

1991年東京医科歯科大学卒。虎の門病院内科レジデント、同院血液内科医員を経て、1999年に医師3人のグループ診療の形態で、在宅医療を中心に行う「あおぞら診療所」を千葉県松戸市に開設。2004年より現職。同診療所では、医学生や研修医を受け入れ、地域医療に貢献する教育クリニックとしても機能。常勤医師は、密に連携している市立病院の緩和ケア病棟に交代で週に一日勤務することで療養場所にかかわらず継続的な緩和ケアを提供できる体制づくりを志向している。2018年4月29～30日開催の第20回日本在宅医学会では大会長を務める。

北野滋久 きたの・しげひさ

国立研究開発法人がん研究センター中央病院 先端医療科
先端医療開発センター新薬臨床開発分野・免疫療法開発分野
1972年大阪府生まれ。1998年三重大学医学部卒、同大学内科学第二講座に入局、同科関連病院にて一般内科研修を行なう。2001年、三重大学大学院医学系研究科入学、造血器腫瘍と固形腫瘍の診療を行ないつつ、新規がん免疫療法の臨床試験、患者免疫応答解析の研究に携わる。2005年、同大学大学院医学系研究科 遺伝子・免疫治療学講座の助手。2008年、同血液・腫瘍内科助教。2009年、Memorial Sloan-Kettering Cancer Center, Ludwig Center for Cancer Immunotherapy (Drs.Jedd Wolchocck and James Allison)に留学、免疫チェックポイント阻害剤(抗CTLA-4抗体療法、抗PD-1抗体療法など)の新規がん免疫療法の開発、臨床試験登録患者の免疫応答解析を主としたトランスレーショナルリサーチ(TR)に携わる。2013年帰国、国立がん研究センター中央病院に赴任し、新規がん免疫療法をはじめ各種新規薬物療法の早期臨床試験、TRを行なっている。専門は腫瘍内科学、腫瘍免疫学、がん薬物療法(特にがん免疫療法)。

金 容彦 きむ・よんいる

淀川キリスト病院 腫瘍内科
1999年北大医学部卒。2003年国立がん研究センター東病院レジデント、2006年より聖隷浜松病院へ。乳腺科、緩和医療科を経て2010年より化学療法科。2016年4月より現職。がん薬物療法専門医・指導医(日本臨床腫瘍学会)。共訳著に『がんサバイバー——医学・心理・社会的アプローチでがん治療を結いなおす』(医学書院、2012年)。

日下部明彦 くさかべ・あきひこ

横浜市立大学医学部医学科 総合診療医学 准教授
1971年群馬県生まれ、埼玉県育ち。1996年横浜市立大学医学部卒。消化器内科医、内科医として神奈川県内の急性期病院で研修。2002年横浜市立大学附属病院緩和ケアチームに参加。2004年に横浜逋生病院に入職し、2005年よりホスピス病棟長に就任。2012年みらい在宅クリニック副院長を経て、2014年10月より現職。専門は緩和ケア、終末期医療、在宅医療、地域連携、胃瘻など

國頭英夫 くにとう・ひでお

日本赤十字社医療センター 化学療法科 部長
1961年鳥取県生まれ。1986年東京大学医学部卒業。国立がんセンター中央病院内科などを経て現職。日本臨床腫瘍学会協議員・日本肺癌学会評議員。これまでの著書に里見清一名義で『偽善の医療』(2009年)、『衆愚の病理』(2013年)、『医師の一分』(2014年、すべて新潮新書)、『誰も教えてくれなかった癌臨床試験の正しい解釈』(中外医学社、2011年)など多数。

公平 誠 こうだい・まこと

公平病院 腫瘍内科
1979年埼玉県生まれ。2004年に千葉大学を卒業し、千葉大学などでの研修を経て、2006年がん研有明病院化学療法科レジデント。2010年に国立がん研究センター中央病院乳腺・腫瘍内科がん専門修練医、2011年～同医員、2014年～希少がんセンター兼任、2016年より医療法人慈公会公平病院病院長。2017年千葉大学大学院卒業。専門は腫瘍内科であり、Community Oncologistとして活動している。
これまでの著作に『新臨床内科学』(医学書院、2009年)、『What's New in Oncology』(南江堂、2015年)など。

河野 勤 こうの・つとむ

公益財団法人 佐々木研究所附属 杏雲堂病院 腫瘍内科／化学療法部
1970年大阪府生まれ。1996年名古屋大学卒。愛知県厚生連海南病院での研修を経て2000年、国立がんセンター中央病院内科レジデント。その後、同センター専門修練医を経て2005年乳腺・腫瘍内科医員。2008年日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医取得。2010年、杏雲堂病院 腫瘍内科医長。2013年より同院腫瘍内科科長、2014年より同院化学療法部部長兼務。専門は腫瘍内科学、緩和医療学。

小杉和博 こすぎ・かずひろ

国立がん研究センター東病院 緩和医療科 医員
1984年埼玉県生まれ。2011年獨協医科大学卒。太田西ノ内病院で初期研修後、2013年聖路加国際病院内科後期研修医。2015年川崎市立井田病院かわさき総合ケアセンター専門研修医、2017年9月より現職。東京医科歯科大学大学院心療・緩和医療学分野社会人大学院生。専門は緩和ケア、在宅診療、消化器内科。

佐治重衡 さじ・しげひら

福島県立医科大学腫瘍内科学講座 主任教授
同附属病院 臨床腫瘍センター センター長
放射線医学県民健康管理センター 地域がん登録室 室長
1968年岐阜県生まれ。1992年岐阜大学医学部卒業。東京都立駒込病院、岐阜大学大学院、埼玉県立がんセンター研究所、カロリンスカ医科大学(スウェーデン)、東京都立駒込病院乳腺外科・臨床試験科、M.D.アンダーソンがんセンター(米国)、埼玉医科大学国際医療センター腫瘍内科、京都大学大学院医学研究科標的治療腫瘍学講座を経て2014年9月より現職。特に乳癌を専門とする腫瘍内科医として診療を行ないながら、ホルモン療法・分子標的治療に関する基礎・臨床・トランスレーショナル研究を継続している。
これまでの著作に『内科学 第10版』(朝倉書店、2013年)、『新臨床腫瘍学』(南江堂、2015年)、『最新 内分泌代謝学』(診断と治療社、2013年)など。

佐藤 雄 さとう・ゆう

聖路加国際病院 整形外科
1978年東京生まれ、2004年日本医科大学卒業。聖路加国際病院での初期研修および整形外科後期研修。2010年より2014年まで新潟中央病院脊椎・脊髄外科センター勤務。2014年より現職。専門は脊椎外科。

品田雄市 しなだ・ゆういち

東京医科大学病院 がん専門相談員
1973年埼玉県生まれ。2012年ルーテル学院大学大学院博士前期課程修了。現在同大学院博士後期課程在学中。1995年より東京医大病院に勤務し、現在は医療福祉相談係長。国立がん研究センター相談員研修講師を務める他、新宿区や東京都のがん対策推進関連の委員として、地域における包括的かつ効果的ながん患者支援体制作りにも携わる。社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員・認定医療社会福祉士。専門は医療ソーシャルワーク、がん・脳卒中・救命救急などの急性期におけるソーシャルワーク実践。「相談したら気持ちが温かくなった」と患者さんに感じてもらえる相談支援を心掛けている。
これまでの著作に『医療福祉総合ガイドブック』(医学書院、2017年)など。

柴田義宏 しばた・よしひろ

福岡和白病院 腫瘍内科

1976年、福岡生まれ。2000年岐阜大学卒。九州大学病院第一内科に入局。2年間の研修後、2002年、久留米聖マリア病院総合臨床腫瘍部でレジデント。大学院修了後に九州大学付属病院第一内科医員、国立がんセンター中央病院で短期レジデントとして勤務。2008年県立宮崎病院化学療法科。2015年より現職である、化学療法センター長。専門は腫瘍内科学。

滝口裕一 たきぐち・ゆういち

千葉大学医学部附属病院 腫瘍内科 教授

1958年東京都生まれ。1983年千葉大学医学部卒。2007年までは呼吸器内科医として、肺がんの研究・診療に、それ以後は腫瘍内科医としてがん薬物療法を専門にしている。

竹下茂之 たけした・しげゆき

日本赤十字社長崎原爆病院 消化器内科副部長・外来化学療法副室長

2002年山口大学医学部卒。同年長崎大学第一内科に入局し、2003年より長崎市立市民病院、2004年より小城市民病院、2005年より月田川市立病院、2006年より国立がんセンター中央病院消化器内科(任意研修)、2007年より長崎大学第一内科、2009年より長崎大学消化器内科を経て、2010年より日本赤十字社長崎原爆病院。

土橋賢司 つちはし・けんじ

九州大学病院 血液・腫瘍・心血管内科

1984年福岡県生まれ。2008年九州大学医学部卒。聖路加国際病院での初期臨床研修を経て、2010年九州大学医学部第一内科へ入る。九州大学病院血液・腫瘍内科医員。その後、2011年慶應義塾大学医学部先端医化学研究所遺伝子制御研究部門(佐谷秀行教授)に国内留学。2015年より九州大学病院血液・腫瘍・心血管内科。専門は腫瘍内科学、緩和医療学、基礎医学。

藤堂真紀 とうどう・まき

埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部 主任

1981年愛知県生まれ。2004年名城大学薬学部卒。同年4月藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院薬剤部常勤、2007年4月より愛知医科大学病院薬剤部常勤、2014年3月愛知医科大学大学院医学研究科 博士(医学)取得。2014年6月より埼玉医科大学国際医療センター薬剤部常勤、2015年8月より現職。主な取得資格は、がん専門薬剤師・認定・指導薬剤師(日本医療薬学会)。

西 智弘 にし・ともひろ

川崎市立井田病院 かわさき総合ケアセンター 腫瘍内科／緩和ケア内科 副医長

1980年北海道生まれ。2005年北海道大学卒。室蘭日鋼記念病院で家庭医療を中心に初期研修後、川崎市立井田病院で総合内科／緩和ケアを研修。その後2009年から栃木県立がんセンターにて腫瘍内科を研修。2012年から現職。専門は、緩和ケア、腫瘍内科学。日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医。

Twitter:@tonishi0610

仁科智裕 にしな・ともひろ

四国がんセンター 消化器内科

1971年兵庫生まれ。1996年岡山大学医学部卒。香川県立中央病院での研修を経て1998年、国立病院四国がんセンターレジデント、2001年、同センター消化器内科医員。2011年より現職。専門は腫瘍内科学、消化器がん化学療法、がん支持療法。新薬の治験やがんゲノム医療の推進に力を入れて研究活動を行なっている。JCOG胃がんグループ代表委員。

朴 順禮 ぱく・すんれ

慶應義塾大学 看護医療学部 専任講師

2001年より慶應義塾大学看護医療学部助教、武蔵野大学心理臨床センター研究員を経て、2008年より現職。看護師・臨床心理士。

現在、看護学生の教育および慶應義塾大学病院緩和ケアチームのメンバーとして、外来がん患者へのカウンセリングを担当している。専門はサイコオンコロジー、緩和ケア。

橋本一径 はしもと・かずみち

早稲田大学文学学術院 准教授

1974年生まれ。東京大学文学部思想文化学科卒業。フランス・ナント大学理工学部DEA課程修了。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。愛知工科大学講師を経て、2012年より現職。専攻は表象文化論。これまでの著作に『指紋論——心霊主義から生体認証まで』(青土社、2010年)など。訳書近刊として、J=N・ミサ、P・スーヴェル編『ドーピングの哲学』(新曜社、2017年)。

馬場英司 ばば・えいし

九州大学大学院医学研究院 九州連携臨床腫瘍学講座

1989年九州大学医学部卒。九州大学病院、国家公務員共済組合連合会浜の町病院での研修を経て、1997年ハーバード大学分子細胞生物学(Jack Strominger教授)に留学。2001年より九州大学大学院医学研究院腫瘍制御学助手、2003年より九州大学病院第一内科助手、2009年同講師を経て、2012年より現職。同年より九州がんプロフェッショナル養成基盤推進プランの事業を担当。専門は腫瘍内科。

原田壮平 はらだ・そうへい

がん研究会有明病院 感染症科 部長(院内感染対策部 部長)

2001年東京大学医学部医学科卒。東京大学医学部附属病院、虎の門病院で内科研修。国立国際医療センター、聖路加国際病院で感染症科専門研修。2007年より東邦大学医学部 微生物・感染症学講座にて微生物研究に従事。2010年に東京大学大学院医学系研究科内科学専攻博士課程修了。2012年より現職。専門は多剤耐性グラム陰性桿菌の耐性機序・疫学・臨床、高病原性肺炎桿菌の臨床・分子疫学、がん患者の感染症診療。

前嶋愛子 まえじま・あいこ

国立がん研究センター中央病院 泌尿器・後腹膜腫瘍科

1979年東京都生まれ。2002年東京大学教養学部総合社会科学科卒。毎日新聞社記者を経て、東京大学大学院総合文化研究科で医療政策史・医療社会学を研究。修士課程修了後、2005年に群馬大学医学部へ編入学。その後2009年東京大学医学部附属病院初期研究医、2011年国立がん研究センター中央病院内科レジデント、2013年同がん専門修練医。がん薬物療法・緩和ケアを専門とし、泌尿器腫瘍や軟部肉腫、希少がんのフィールドで真に患者さんに役立つ医療の実践を目指している。

宮城明実 みやぎ・あけみ

聖隷浜松病院 薬剤部

1972年静岡県浜松市生まれ。1995年福山大学卒。1995～2001年、明治製菓株式会社 薬品総合研究所製剤技術室にて勤務。2002年1～6月、保険調剤薬局（ミサト企画 かもめ薬局）。2002年6月～2013年3月、医療法人平和会平和病院薬剤科。2013年より現職。2012年緩和薬物療法認定薬剤師を取得し、院内の緩和ケアサポートチームに所属。2015年より緩和医療薬学会社員（評議員）。

三好 綾 みよし・あや

NPO法人がんサポートかごしま 理事長／一般社団法人全国がん患者団体連合会 理事・事務局長

長崎大学教育学部卒。2002年、27歳時に乳がん告知を受け乳房全摘手術をし、乳がん患者会やピンクリボン活動を経て、がん患者さんとご家族のサポートをする現職に就き、全部位を対象とした「がん患者サロン」の運営や、医学教育、小中学校を対象とした「いのちの授業」、遺族会、若者がん患者会などの運営に携わる。2015年5月には、全国組織である「全国がん患者団体連合会」の理事・事務局長に就く。

森 玄 もり・たかし

練馬光が丘病院 薬剤室

1973年京都生まれ。1997年明治薬科大学卒。2003年山王メディカルプラザ薬剤室において化学療法に携わる。2005年国際医療福祉大学附属三田病院 薬剤部、2009年杏雲堂病院 化学療法部などを経て、2014年より現職。また、2007年よりNPO法人 がん情報局 事務局長を務める。専門は乳がん化学療法。